

令和3(2021)年度学校と地域の連携推進セミナー実施報告②

実施日：令和3年8月24日（火）

第2回は、新型コロナウイルス感染防止のため、リモートで研修を行いました。

○ 講話「よりよい人間関係を作るためのコミュニケーションスキル」

総合教育センター職員

協働を促進するファシリテーションの技術の一つである対人関係のスキルについて講話を行いました。しっかりと相手のメッセージを受け止め、発信者を勇気づけ、心の底にある本当の思いを引き出していく技術などについて、スライドを見ながら研修を進めました。受講者は、自己紹介のポイントや傾聴、相手をリアクションで承認する仕方、非言語メッセージの読み解き方、いろいろな質問形式の使い分け、柔らかい話し方などのコミュニケーションスキルについて学ぶことができました。



○ 演習「地域のつながりをつくるためにできること」

総合教育センター職員

学校と地域がつながりをつくり、ビジョンを共有するためのワーク体験を行いました。受講者は、地域の教育資源を学習に取り入れ、その学びから地域づくりに発展させていく必要性を学び、「つながりのある地域」を実現するための具体策について、地域側からと学校側からの、それぞれのアプローチに分けて考えることができました。グループに分かれて意見交換を行い、個人でたくさんアイデアを出し、考えを分かりやすく整理しながら、学校と地域がそれぞれの立場でできる具体策について考えることができました。また、地域のつながりをつくるために一人一人がそれぞれの立場で「自分は何をすべきなのか」という役割について再確認することができました。

【受講者の感想から】

- ・ 仕事上、コーディネーター、インストラクター、ファシリテーターなどの役割が求められるため、コミュニケーションスキルを磨くことは不可欠であり、今回のテーマはとても参考になりました。
- ・ 人とコミュニケーションをとる上で、自分にできていないことに気がつくことができました。
- ・ 相手が話しやすい雰囲気をしっかり作りながら傾聴できる技能を身につけていきたいです。
- ・ 話し合い活動を充実させるには、コミュニケーションスキルの習得がいかに大切であるかを再認識しました。
- ・ 自分の磨きに役立つ内容でした。自分とは異なる立場の方の意見を聞けるためになりました。
- ・ オンラインの開催ではありましたが、演習では改めて地域のつながりについて考えたり、参加者から現在の取組状況など情報交換ができたりと有意義な研修になりました。
- ・ ブレイクアウトルームでの地域コーディネーターの方のお話から、様々な気遣いをしながら学校のニーズを探り、地域とつなげようとしてくださっていることが分かりました。
- ・ 教員だけでなく行政の方とも話をするのができ、よい学びになりました。
- ・ 今後、授業や研修をする上で他の先生や生徒たちへも情報提供していきたいと思えます。
- ・ 地域の行事等、人の集まるのが中止や制限される中で、本日の研修会のように、できることをできる形で取り組む体験をし、前向きになれました。
- ・ ズームでの研修が初めてで、悪戦苦闘しながらでした。チャットでサポートしてもらいながら無事参加できてよかったです。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp

